



～集い、歌い、聴き、学ぶ～

アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2019

7.13 (土)

14:30 開場 15:00 開演 19:00 終演予定

歓迎演奏

ワークショップ 講師：名島啓太

— 休憩 —

レディースシンガーズ Sophia (女声・大阪)

大阪ユースクワイア (混声・大阪)

ADIRA (女声・和歌山)

— 休憩 —

絢の会 (女声・京都)

信州大学グリークラブ (男声・長野)

「パン屋さんの匂いでしょ」から
パンのマーチ

— 休憩 —

混声合唱団 鈴優会 (混声・東京)

7.14 (日)

14:30 開場 15:00 開演 19:00 終演予定

歓迎演奏

ワークショップ 講師：松下 耕

— 休憩 —

合唱総合エンターテインメントグループ

「よりどりみどり」(混声・関西)

クロワール (女声・大阪)

Aldebaran (混声・大阪)

— 休憩 —

Prunus (女声・鹿児島)

松江ブラバ少年少女合唱隊

Pure Blueberry (同声・島根)

「パン屋さんの匂いでしょ」から
クロックムッシュ!

— 休憩 —

The Metropolitan Chorus of Tokyo

(混声・東京)

京都府立府民ホール “アルティ”

主催：アルティ声楽アンサンブルフェスティバル実行委員会

創く公益財団法人京都文化財団・株式会社コングレ 共同事業体>

後援：全日本合唱連盟、京都府合唱連盟

協力：有限会社アールミック ジョバンニ・レコード事業部

合唱団「葡萄の樹」

アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2019 に寄せて

代表・実行委員長 伊東 恵司

昨年はホールの30周年記念行事を兼ねての3日間開催となり、大変にぎやかな開催となりましたが（…公募合唱団による合唱物語「パン屋さんの匂いでしょ」を発表し、ロビーをクロワッサンの匂いで充滿させたものです…）早いものでもう一年が経過しようとしています。

新しい時代が到来し、今年は15年目の夏を迎えます。様々な人に応援していただき継続できていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、今年は、ゲストに「混声合唱団鈴優会（東京／指揮：名島啓太）」と耕友会の集合体とも言える「The Metropolitan Chorus of Tokyo（東京／指揮：松下耕）」に来ていただくことが出来ました。歌を巡って様々な観点からその魅力に気付ける2日間になりますように。

公募で全国から集まってきていただいた団体には「幕開け」というテーマで選曲をしてもらっていますが、新しい時代の幕開け、それぞれ工夫を凝らした個性的な音楽を聞かせていただけることでしょう。今年も祇園祭に賑わう京都で、アンサンブルの魅力をつらつら味わっていただき、交流の輪が広がっていけばと思います。

●プロフィール 伊東 恵司 指揮者

児童・混声・女声・男声…あらゆる形式・ジャンルの合唱指導を行い、全日本合唱コンクール・宝塚国際室内合唱コンクール等でグランプリ、金賞、特別賞を多数受賞。世界合唱シンポジウムでは2度にわたり（ソウル・バルセロナ）特別招待演奏団体（「なにわコリアーズ」「Ensemble Vine」）に選出される等、海外公演も多数。現在、全国各地で審査員や合唱指導を行う他「アルティ声楽アンサンブル」「コーラスめっせ」等の新規の合唱フェスティバルの企画や主催を行っている。現在、日本合唱指揮者協会理事（関西支部代表）。カワイ出版より「スチューデントソングブック（1・2）」「合唱エクササイズ（育成編・運営編・日本語編）」他、ブレーン株式会社より「合唱のイントロダクション」を上梓。「みなづきみもの」のペンネームで作詞活動展開中。



合唱 — 奇跡の福音

特別顧問 松下 耕

ご来場の皆様

ようこそ、真夏の京都の風物詩、アルティのフェスティバルにお越しくださいました。

このフェスティバルの特徴は、なんととってもその温かい雰囲気にあると思います。合唱団の個性を認めあい、楽しみあい、そして讃えあう場であります。この二日間、楽しいステージが続くことでしょう。この雰囲気を、私たちは宝と思い、末長く大切にしていきたいと思っています。

私は、故吉村信良先生がこのフェスティバルを仕切ってくださっていた頃から、関らせていただいておりますが、吉村先生のお人柄そのもののような、明るく、温かな雰囲気は、伊東恵司さんに引き継がれてからも、脈々と引き継がれてきました。『西の京都、東の軽井沢』とでもいいでしょうか、夏に行われるこの二つのフェスティバルは、共通のテーマ『競い合う合唱から、認め合う合唱へ』で固く結ばれています。

世の中、競争の論理で動いています。資本主義社会である限り、それは致し方ないことでありますが、人間、競争の論理だけで動くと、身体や精神が病んでいきます。それは、人間が本来持っている本能としての『愛と慈しみの心』が侵されるからです。人間は、愛し合い、認め合いたいという遺伝子を生まれながらに持っていて、そういう生き方をしたいという本能があるのです。その本能を呼び覚ますのが、芸術であると思います。特に、楽器を必要としない合唱は、平和活動としてこれほど感動的で、全ての人間が納得するものはないと言って良いでしょう。まさに万人に与えられた奇跡の福音であります。

今年も、この二日間、ご来場のみなさんと、様々な合唱を存分に楽しみながら、世界の平和を願いたいと思います。どうか、温かい拍手で、この素晴らしいホールを満たしてください。

7.13 (土) 「合唱のウォーミングアップ～名島メソッドでハモリ慣れよう！」

講師 名島 啓太

立教大学卒。在学中より合唱指揮を始め、現在約10の合唱団の常任指揮者を務める。ウィーンやブラハでの海外公演や、Nコン課題曲の放送初演をはじめとする新作初演、客演指揮、講習会講師、コンクール審査員など多彩な活動を展開している。また、全日本合唱コンクール全国大会で新潟大学合唱団、混声合唱団鈴優会を指揮して金賞受賞するなど、各種コンクールで数多く入賞を果たしている。近年では本格的に作曲を始め、作品を発表している。日本合唱指揮者協会副理事長。北区合唱連盟理事長。2016年北区教育文化功労賞受賞。作曲作品にミサ曲第1番「日本から」、無伴奏混声合唱のための「三つのモテット」(カワイ出版)他がある。



7.14 (日) 「歌うことは祈ること」 <テキスト> Ave Maria in D♭ (松下耕 作曲)



© 武藤 章

講師 松下 耕

1962年東京生まれ。作曲家、合唱指揮者。国立音楽大学作曲学科首席卒業。卒業後、ハンガリーに渡り、合唱指揮法及び作曲法を学ぶ。レマーニ・ヤーノシュ、モハイ・ミクローシュ他に師事。

作曲家として生み出している作品は合唱曲を中心として多岐にわたり、作品は世界各国で広く演奏されており、同じく楽譜も国内外で出版が相次いでいる。

同時に指揮者として東京合唱アライアンス〈耕友会〉芸術総監督として12団体の指揮を務めるほか、耕友会外の国内2団体の常任指揮者を務め、各国の合唱団から客演指揮者として招聘されている。

一般社団法人東京国際合唱機構代表理事。耕友会芸術総監督。軽井沢国際合唱フェスティバル総合音楽監督。東京国際合唱コンクール総合プロデューサーおよび芸術監督。東京都合唱連盟副理事長。全日本合唱連盟東京副支部長。



7.13 (土)

混声合唱団 鈴優会

<混声・東京>

指揮 名島 啓太

ピアノ 岩井 智宏

● 演奏曲

無伴奏混声合唱のための「三つのモテット」(名島啓太作曲)
Ave verum corpus Tantum ergo O salutaris

混声合唱とピアノのための組曲「目をそらさずに」(吉原幸子作詩／市原俊明作曲)
Ⅰ. 絵本 Ⅱ. HELP! Ⅲ. 祈り Ⅳ. 生きる

当団の指導者である名島啓太、市原俊明両氏による作品（しかも二作とも出版されたばかりです）を演奏いたします。
『三つのモテット』の各曲は別々の機会に作曲されたものの、三曲とも聖体（イエス・キリストの肉体、またそれを象徴するものとしてミサで食されるパンやぶどう酒）を賛美する音楽です。イエスの生涯や奇蹟に思いを巡らせ、そして祈りによって力を得た人々の喜びまで表現されています。『目をそらさずに』は大阪大学混声合唱団により委嘱・初演された迫力ある組曲。吉原幸子さんの突き刺さるような言葉に、多彩な曲調で作曲された熱くシリアスな作品です。

● プロフィール

混声合唱団 鈴優会

1992年9月22日創団以来、常に音楽文化の発展の一助たらんことを目的とし、日常的に音楽文化と親しみ楽しみながら、より質の高い音楽活動を目指している。団員は、大学生から様々な職種の社会人が集まっており、レパートリーはルネサンスから現代音楽、邦人作品まで幅広く、その精緻な音楽づくりは高く評価されている。また初演した作品も数多い。東京都合唱コンクールでは2014～2018年連続金賞受賞、2017年全日本合唱コンクール全国大会において金賞受賞。常任指揮者名島啓太、アンサンブルトレーナー市原俊明。

名島 啓太 指揮者
p.2 参照

岩井 智宏 ピアニスト

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第4回“万里の長城”杯国際音楽コンクール第3位入賞。飯塚新人音楽コンクール入選。第7回日本アンサンブルコンクール連弾部門優秀演奏者賞、全音楽譜出版社賞をそれぞれ受賞。受賞者披露演奏会出演。





7.14 日

The Metropolitan Chorus of Tokyo

<混声・東京>

指揮 松下 耕

● 演奏曲

Messe pour double Chœur a cappella (Frank Martin 作曲)

Kyrie Gloria Credo Sanctus Agnus Dei

フランク・マルタン（1890-1974）の作品の中でも、この二重ミサは特別な作品と言っても過言ではない。

Kyrie, Gloria, Credo の前半部分、Sanctus は 1922 年に、Credo の後半は 1924 年、そして Agnus Dei は 1926 年に書かれたが、マルタンにとってこのミサは演奏されることが目的だったのではなく、ただ神に捧げるため、自己と神との対話のために書かれたものだったのである。ハンブルクの指揮者によって初演されたのは 1963 年、作品完成から 40 年後のことであった。

各曲の冒頭には主に 5 音階が用いられ、リズムはあくまでもシンプルである。マルタンは、ワーグナーの半音階主義や 12 音技法よりも、完全協和音程や全音階的メロディに音楽の喜びを見出していた。古典的なフォルムを持ちつつも、彼のゆるぎない信仰心から発する全ての音は端正かつ高貴であり、聴く者の心にまっすぐに訴えかけてくるエネルギーに満ちている。

● プロフィール

The Metropolitan Chorus of Tokyo

松下耕が音楽監督・常任指揮者をつとめる合唱団で構成される『耕友会』のメンバーによる混声合同合唱団。合唱祭やイベントへの参加、学校や福祉施設への訪問演奏、CD 録音、海外における公演や交流活動など、合唱文化の継承と保存、発展に貢献している。

2015 年より始まった日本国際合唱作曲コンクールでは授賞式での世界初演を行うなど、その活動の質の高さには定評がある。

2011 年 シンセン市にてシンセン交響楽団と共演

2015 年 ソルトレイクシティで行われたアメリカ合唱指揮者協会 ACDA 主催の国際合唱カンファレンスでの招待演奏

2016 年 釜山国際合唱祭・コンクールでの招待演奏

松下 耕 指揮者

p.2 参照

歓迎演奏（13・14日とも）

みやこ・キッズ・ハーモニー／コールメイプル／京都市立御所東小学校 音楽部

● 演奏曲

京のわらべ歌

祇園祭のお礼売り 四方の景色 とおりゃんせ かごめ 一条戻り橋 いんでこ大文字

● プロフィール

みやこ・キッズ・ハーモニー

「京都の街なかに子どもの歌声を取り戻そう」と2006年に結成。「手をつなぎ、遊びながら共に歌うこと」を活動の柱に、わらべうたや世界の歌を中心に歌っています。練習は月に2回、小学1年生から高校生までが楽しく活動しています。

コールメイプル

ファッショナブルでチャーミングな若い女声合唱団を作りたい！という思いから生まれた合唱団です。身体を使ったしっかりした発声と、音楽を全身で表現することを重視し、伸びやかな声、素敵な表情、美しい姿勢と全てが魅力的な演奏ができることを目指しています。団員絶賛募集中♪私たちと一緒に歌いませんか♪

京都市立御所東小学校 音楽部

京都市立御所東小学校は、東に鴨川、西に京都御苑という自然に囲まれた場所にあります。私たち音楽部は、音楽好きのメンバーが集まって合唱したり器楽合奏したりしています。仲間と演奏する楽しさ、仲間と声を合わせる喜びを表現したいと思います！

レディースシンガーズ Sophia

<女声・大阪> 指揮 杉田 結里

● 演奏曲

In dulci jubilo (Michael Praetorius 作曲)
Ave Maria (Kodály Zoltán 作曲)
星月夜 (さとう恭子作詩／松下耕作曲)
そらまめ (さとう恭子作詩／松下耕作曲)
ほたるたんじょう (くどうなおこ作詩／木下牧子作曲)
Gloria (Nancy Telfer 作曲)

「幕開け」は時代の始まりであり、誕生、命。そして明日への希望、喜び。
そんなイメージをもって選曲しました。
《時代のはじまり》
キリスト教の世界は、イエスの誕生と死によって大きな影響を与え、時代は変遷。
そんなイエス誕生を祝った歌「In dulci jubilo」そして聖母マリアを祈祷した「Ave Maria」
《誕生・希望・未来》
私たちは、この5月にファーストコンサートを開催しました。そのコンサートで演奏した3曲を取り入れました。
《喜び》
最後に新元号になり、新たな「幕開け」となる喜びを「Gloria」の曲で歌います。

● プロフィール

レディースシンガーズ Sophia

2013年、松下耕を音楽監督とする合唱グループ「関西耕友会」の設立と同時に、同会の女声合唱団として発足。智慧や知性を意味する「Sophia」は、私たちの合唱への真摯な想いを込めている。創団以来、常任指揮者である杉田結里指導のもと、アカペラ曲を中心に素直で響き豊かな声、美しいハーモニーを目指し、練習を重ねている。2019年5月に、第1回単独演奏会を開催。

杉田 結里 指揮者

京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。声楽を、上西一郎、木川田温子、木村能里子の各氏に師事。第19回大阪国際音楽コンクール声楽部門歌曲コースにてエスポアール賞を受賞。現在レディースシンガーズ Sophia にて常任指揮者、クールシェンヌにて副指揮者を務める他、各地で活動している。

● 演奏曲

島唄 (宮沢和史作詞作曲／信長貴富編曲)
混声合唱アルバム「小さな愛、4色」から 夕焼け空 (みなづきみのり作詩／相澤直人作曲)
無伴奏混声合唱のための「ゆめおり」から 夏 (みなづきみのり作詩／松下耕作曲)
Furusato (高野辰之作詞／岡野貞一作曲／ Philip Lawson 編曲)

私たち大阪ユースクワイア (OYC) は、より豊かな音楽をより多くの人たちと共有したいと思っています。今回その新たな出発として、「日本の風景」と題して4曲演奏します。

【島唄】沖縄の風を感じながら、平和を願う人々の姿に思いを馳せてみてください。

【夕焼け空】私たちはこれまで、何度夕焼け空を見て、心を奪われてきたでしょう。ノスタルジーあふれる演奏をお届けします。

【夏】時の経過も忘れ、思わず星空に魅入ってしまうような、夏の夜を感じるひとときをお楽しみください。

【Furusato】混声六部によるアレンジをお届けします。みなさんの原点ともいえる故郷を思い出しながらお聞きください。

● プロフィール

大阪ユースクワイア

2013年に関西研友会インターカレッジ合唱団として、女声合唱団のVoces Dulcis（優しい声）、男声合唱団のVoces Lucis（希望の光の声）が発足。音楽監督は松下耕、常任指揮者は沼丸晴彦、芸術アドバイザーは伊東恵司。2018年の8月から、混声での活動の際は「大阪ユースクワイア」という名称で活動することとなる。夏の軽井沢国際合唱フェスティバル、冬のコンサートを活動の両軸としながら、関西の大学の垣根を越えて日々活動している。

伊東 恵司 指揮者

p.1 参照

● 演奏曲

無伴奏女声合唱のための「きまぐれうた」 (土田豊貴作曲)
1、夕日〜とおい野 (武鹿悦子作詩) 2、ネコ (まどみちお作詩) 3、恋 (みなづきみのり作詩)
4、みあげれば宇宙 (工藤直子作詩) 5、こがらし (新川和江作詩)

女性には様々な笑みがあります。情景ひとつで哀しい微笑。くったくのない可憐な笑顔。乙女の淡い恋心を回想し、少女から大人の女性となった今の穏やかなほほえみ。空を見上げ、大きな宇宙を感じた時、小さな存在の私のくよくよなんて。ほんのちっぽけなこと。吹っ切れた時の明るく弾ける笑顔。

大人となり、時に憂いの表情を浮かべたとしても、それを乗り越え、何があっても自ら拓いていく凛とした笑み。私たちの「きまぐれうた」に輝いた女性の姿が見えますでしょうか。

● プロフィール

ADIRA

私たち ADIRA は 和歌山県の紀中に位置する 有田・御坊日高地方から集まった仲間です。2008年6月の結成から、歌うことが大好きな仲間の輪が広がり団員も少しずつ増えました。ほとんどが主婦であり仕事を持っています。時間を遣り繰りして限られた時間の中で個性豊かな私たちが「和」になることを心がけて励んできました。アルティで歌えること!! すごく楽しみに今、ここにいます。音との出会いは一期一会、この一瞬を輝きます。

朝間 貞佳 指揮者

和歌山県有田市在住。形にとらわれないフレキシブルな音楽スタイルで様々なジャンルの合唱指導をし現在6合唱団の指揮者をしている。地元、小中学校にて歌を通しての豊かな感情育成にも貢献。その指導は言葉が持つ力と音との絡まり、紡がれた想いを真摯に伝えている。また舞台の企画から作曲に至るまでマルチに活動。

● 演奏曲

無伴奏女声（同声）合唱のための「7つの子ども歌」から 一番はじめは 通りゃんせ （信長貴富編曲）
 女声合唱のための「宮崎駿アニメ映画音楽集第2集」から やさしさに包まれたなら （荒井由実作詞作曲／信長貴富編曲）
 無伴奏女声合唱組曲「種子はさへづる」から 春の河 （山村暮鳥作詩／信長貴富作曲）
 女声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」から くちびるに歌を （Cäsar Flaischlen 作詩／信長貴富訳詞／信長貴富作曲）

できるだけ幅広いジャンルの信長貴富作品をとりあげました。だれもが口ずさめる「わらべうた」を、合唱の楽しさを追求できるまでに編曲された「一番はじめは」と「通りゃんせ」。軽快な中に切なさをにじませた「やさしさに包まれたなら」。山村暮鳥の言葉の響きに対する繊細な感性が、「春」のテーマで散りばめられる「春の河」。そして日本語とドイツ語の実験的な共存の中で、懐深い情感が呼び覚まされる「くちびるに歌を」。

母国語の響きを大切に、そこにある魂の根幹を少しでも揺さ振ることができたらと思います。

● プロフィール

絢の会

指揮者梶田が、指揮・指導する女声合唱団の集合体。2011年4月、2018年10月に京都コンサートホールで演奏会を開催。「絢物の美しい模様。また模様があって美しいこと」の意味をもつ「絢」の下、「美しさ」と「強さ」と「しなやかさ」を備え、楽しく、ひたむきに凛とした高みを目指すことを、モットーとしている。また、「どこかの合唱団体で歌っていること」が参加条件の妹分団体「あやの会」も不定期（2〜3ヶ月に1度の集まり）ながら、活動をしている。

梶田 慶太 指揮者

おかあさん大会全国大会において、パープル・エコー（2002）、女声コーラス“かりん”（2016）を京都代表として指揮。2018年6月に自ら主宰を務める合唱団GMCの「メサイア（全曲演奏）」の演奏会を成功させている。
 声楽を蔵田裕行、福島明也、指揮・合唱指揮法を田中信昭、本山秀毅、各氏に師事。
 合唱団GMC主宰、絢の会代表をはじめ、数多くの合唱団を指揮・指導している。

信州大学グリークラブ <男声・長野> 指揮 近藤 基

● 演奏曲

無伴奏男声合唱組曲「いつからか野に立つて」から 虹 （高見順作詩／木下牧子作曲）
 Der Jäger Abschied （Joseph von Eichendorff 作詩／Felix Mendelssohn 作曲）
 TrinkLied （Johann Wolfgang von Goethe 作詩／Felix Mendelssohn 作曲）
 “Laudes de Saint Antoine de Padoue” から O Jesu Si quaris （Francis Poulenc 作曲）
 男声合唱曲「こころよ うたえ」（一倉宏作詩／信長貴富作曲）

2003年に信州大学グリークラブで委嘱初演した「無伴奏男声合唱組曲 いつからか野に立つて」より虹

高見順の静謐な詩と木下牧子が描くハーモニーをお楽しみください。

メンデルスゾーンの男声合唱曲から Der Jäger Abschied と TrinkLied

ロマン派ならではの情感豊かな旋律とパート間の掛け合いを楽しんでいただければと思います。

「バドヴァの聖アントニウスの讃歌」から O Jesu と Si quaris

荘厳で新鮮な響きを持つこの作品はプーランクが作曲した最後の男声合唱作品であり、強い祈りのメッセージを感じられることと思います。

● プロフィール

信州大学グリークラブ

信州大学グリークラブは、「よく食べ、よく学び、よく歌う」ことを信条とし、男声合唱をこよなく愛する大学生が集った団体です。半数以上が大学まで合唱未経験の団員ですが、長野の山々に見守られながら日々練習に励んでいます。初めてのアルティのステージでのびのびと歌えればと思います。

近藤 基 指揮者

愛媛県出身。信州大学教育学部卒業。指揮法を増井信貴氏、合唱指導を中村雅夫氏に師事。信州大学混声合唱団在籍中より合唱指揮活動を始め、関屋晋氏から多大な影響を受ける。卒業後、長野県を中心に音楽活動を続けている。JCDA 日本合唱指揮者協会 会員、長野県中合唱連盟常任理事。



合唱総合エンターテインメントグループ「よりどりみどり」 <混声・関西>

● 演奏曲

指揮 横山 智昭 ピアノ 柏原 拓斗

混声合唱のためのメドレー「サウンド・オブ・ミュージック！」から

Music by Richard Rodgers

My Favorite Things Do-Re-Mi

Lyrics by Oscar Hammerstein II

The Lonely Goatherd Edelweiss

Arranged by Tomoaki Yokoyama (横山智昭)

Climb Every Mountain ~ The Sound of Music

不朽の名作『The Sound of Music』を彩る名曲に横山智昭フレーバーをトッピングした一粒で二度美味しい曲集よりお届け。

ジャズのスタンダードナンバーにもなっている「My Favorite Things」に始まり、きっと誰でも一度は歌った「Do-Re-Mi」、とってもハッピーなストーリーの「The Lonely Goatherd」、白く可憐な花と祖国への愛を歌う「Edelweiss」、そして困難に直面した時自らの足で前に進む力をくれる「Climb Every Mountain」まで。

アルティで繰り広げられる3Dシアターをお楽しみください！！

●プロフィール 合唱総合エンターテインメントグループ「よりどりみどり」

2018年5月創立。作曲・編曲・ピアニスト・指揮者他マルチな活躍をする主宰横山智昭のもと「歌声のオーケストラ」である合唱を軸に、音楽の「よりどり」な魅力を追求する。2019年3月には『合唱劇場』と銘打ち旗揚げ公演を開催。本日演奏する『サウンド・オブ・ミュージック！』や合唱演劇、カホンやバイオリンとの共演など「よりどりみどり」な演出で盛会のうちに終え、現在「Season1.5」好評継続中。

横山 智昭 指揮者

ピアニスト・作曲家・指揮者。クラシック・ジャズ・ポップス・合唱の垣根を超え音楽の“ワクワク！”を追求する作曲家・ピアニスト。代表作は混声合唱組曲『いのちのうた』『お菓子の時間』、女声合唱のための編曲集『DO ENKA（ド演歌）』（カワイ出版）、NHK みんなのうたセレクション『みんなのかぞくのうた』（バナムジカ出版）。

クロワール <女声・大阪>

指揮 西牧 潤 ピアノ 高野 麻里子 パーカッション 可児 麗子 チェロ 山木 友喜子

● 演奏曲

Springdans fra vestfold (Tone Krohn 編曲)

Song of Hope (Susanna Lindmark 作詞作曲)

女声合唱「枕草子」から (一倉宏作詩／上田知華作曲)

あてなるもの 嵐のつぎの朝 私の好きな月

前半は北欧現代作曲家による 2 曲をお送りします。ノルウェーの作曲家による「Springdans fra vestfold」とは「ヴェストフォル県からの春の踊り」の意。「Song of Hope」はスウェーデンの作曲家による力強い希望の歌です。後半はうってかわり、清少納言の「枕草子」の世界を現代語にアレンジした作品をお届けします。「あてなるもの」とは高貴、上品なもの。「嵐の次の日の朝」は台風一過の後、自然の力によって変わりはたてた景色。「私の好きな月」は「春はあけぼの」と始まる序段。千年前と変わらず続く、四季のある日本の情景を、心地よいシンプルなメロディにのせて歌います。

● プロフィール クロワール

2004 年創団。20～30 代のメンバーが集まり、主に阪神間で活動している女声合唱団。日本語曲から現代外国曲まで、アンサンブルを重視しながらジャンルにとらわれず歌っている。学生・社会人・主婦・ママと立場は様々ながら、吹奏楽との共演 (2014)、横山智昭氏への委嘱初演 (2014)、海外合唱団との Joint Concert (2016)、シアターピース作品参加 (2018)、大学合唱団 3 団との Joint Concert (2019) 等、パワフルに活動中。来年 2 月に創立 15 周年記念演奏会開催予定。団員大々々々々々募集中心！

西牧 潤 指揮者

指揮を小林研一郎、齊田好男の両氏に師事。大学在学中に合唱団ボイスフィールドを設立、40年間指揮者を務める。宝塚少年少女合唱団、甲南大学グリークラブ、神戸ポートシンガーズ、クロワール、K G合唱の会などの指揮者として活動する一方、オペラ、オーケストラを伴う合唱作品など、幅広い演奏活動をおこなう。

● 演奏曲

Bonjour, mon cœur	(Pierre de Ronsard 作詞／Orlande de Lassus 作曲)
Mignonne, allons voir si la rose	(Pierre de Ronsard 作詞／Guillaume Costeley 作曲)
The Silver Swan	(Sir Christopher Hatton 作詞／Orlando Gibbons 作曲)
O Magnum mysterium	(Tomás Luis de Victoria 作曲)
The Infant King	(Basque Noël／Sabine Baring-Gould 作詞／David Willcocks 編曲)

前半 3 曲はルネサンス期の世俗曲です。

Bonjour, mon cœur は愛する女性に対する思いを、Mignonne, allons voir si la rose は女性の美しさの儂さを、The Silver Swan は、白鳥は死の間に一度だけ非常に美しい歌を歌うという伝説を歌った曲です。

後半 2 曲は宗教曲です。O Magnum mysterium はイエスの生誕と、聖母マリアを祝福する曲です。

The Infant King はみどり児イエスを前に、様々な受難を予感しつつも今はそっと寝かせておいてあげようという、バスク地方の Noël です。

● プロフィール

Aldebaran

2017 年結成。一人一人が音楽を表現し、互いに重ね合わせながら 1 つの音楽に練り上げていくことを目標に、毎回の練習で試行錯誤しながら真摯に合唱に取り組んでいます。

団名の Aldebaran(アルデバラン)はおうし座の一等星に由来。アルティ声楽アンサンブルフェスティバルには昨年に引き続き 2 年連続の出演。

高橋 元 指揮者

大学入学時より合唱を始め、3 回生時に指揮者を務める。指揮法を富岡健氏に師事。

合唱音楽と共に、Jazz に深く傾倒し「1 人 1 パート、即興性のある音楽」に興味を持つ。

大学卒業後もルネサンス期の宗教曲・世俗曲、近代のパートソングを中心とした少人数合唱団を立ち上げ、「自らが音楽を発信する」集団を目指し、音楽活動を続けている。

● 演奏曲

無伴奏女声合唱による奄美島唄「うたつむぎ・おとつむぎ」(信長貴富編曲)

1. 祝付け 2. 雨ぐれ 3. 一切朝花 4. 糸繰り 5. 六調

この曲集には、信長貴富氏により編曲された奄美島唄 5 曲が収められています。「島唄」は、奄美の伝統音楽のことで、“集落”を意味する「シマ」ごとに、それぞれ独自に伝承されてきました。お祝い事やお祭り等日常のあらゆる場面に“島唄”はあり、様々な感情を素直に唄にのせて表現しています。日々の暮らしの中に生き続ける音楽だからこそ、島唄は長く愛され受け継がれています。人々の幸せを願う唄、親の長寿を願う唄、辛い生活を嘆く唄、恋の唄、踊り唄…。身近な音楽を、より繊細に色彩豊かに、島唄の魅力を表現できればと思います。

● プロフィール

Prunus

鹿児島女子高音楽部OGにより平成 21 年に結成。(現在はOGに限らず構成) イベントやコンクールなど様々な舞台で幅広く合唱を楽しんでいる。これまで、鹿児島県合唱フェスティバル県知事賞(最高賞) 2 回、九州合唱コンクール金賞 4 回、声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場 2 回等、数々受賞。平成 26 年鹿児島・香港交流事業では香港にて演奏を披露し好評を得た。Facebook にて活動記録更新中♪

盛山 春樹 指揮者

奄美大島生まれ。高校在学中に合唱を始め、池田聰氏、小倉眞一郎氏に師事。鹿児島大学教育学部音楽科卒業。声楽を齊藤祐氏に師事。ピアノを元井啓子氏、静忠義氏、福島玲子氏、下福力氏に師事。平成 13 年から鹿児島女子高校に 9 年間勤務し、数多くのコンクールで入賞に導く。平成 21 年同校 OG 合唱団「Prunus」を設立。

松江プラバ少年少女合唱隊 Pure Blueberry

<同声・島根> 指揮 伊東 恵司

● 演奏曲

女声合唱のための「あかあかや」 (明恵作歌／千原英喜作曲)
 無伴奏童声(女声)合唱のための「かんかんかくれんぼ」から (和歌山のわらべうた／信長貴富作曲)
 かんかんかくれんぼ てんてんてまりうた
 あんたがたどこさ 一童声または女声のために (松下耕作曲)

今回私達が選んだ曲は、数日後にイタリア北部ゴリツィアにて開催される、セギツィ国際合唱コンクールで演奏するプログラムです。「あかあかや」は、明恵上人の舞い歌う姿を思い描いた作品です。そして和歌山のわらべうたから、私達が10年以上歌い続けている「かんかんかくれんぼ」「てんてんてまりうた」、最後に、まりつき唄で知られている「あんたがたどこさ」を、手拍子、足踏みを交えながら、明るく楽しく歌います。今日は、伊東恵司先生の指揮で歌えることを、とても楽しみにしています。

● プロフィール

松江プラバ少年少女合唱隊 Pure Blueberry

松江プラバ少年少女合唱隊は、1986年プラバホール竣工と共に結成しました。プラバと言うのは、松江城の別名「千鳥」を意味しています。また、Pure Blueberryは中学生以上で結成しており、コンクールや各種イベントに参加しています。2005年より伊東恵司先生にご指導いただいています。アルティは8年ぶり4回目、素晴らしいホールで歌うのを楽しみに参りました。明日からは、イタリアの「第58回セギツィ国際合唱コンクール本選」に参加します。どうぞよろしくお願いいたします。

伊東 恵司 指揮者

p.1 参照



合唱団「葡萄の樹」

第21回くりすますこんさーと

2019/12/22 (日) 17:00 開演予定

京都コンサートホールアンサンブルホールムラタ

指揮：伊東恵司

ピアノ：松本 望

♪ 古典イタリアの宗教曲
(Palestrina/Gesualdo/Monteverdi)♪ 混声合唱とピアノのためのメルヒェン「青をめぐるクジラ」
(みなづきみのり／山下祐加)

賛助出演：みやこ・キッズ・ハーモニー

♪ クリスマスアラカルト

【ホームページ】 <https://sites.google.com/site/budounokichoir/>

アルティ声楽アンサンブルフェスティバル2020

予告! 2020/7/11(土)・7/12(日)

来年も夏の京都にお越しやす〜

【ホームページ】 <https://sites.google.com/site/altifestival/> 【E-mail】 alvef@outlook.jp

15th Anniversary

軽井沢国際合唱フェスティバル

Karuizawa International Choral Festival

2019 8/23(金) - 25(日) 軽井沢大賀ホール ほか周辺施設

15th
おかげさまで15周年
Anniversary 企画も
盛り沢山!

8/23(金) 17:30-19:00



15年の感謝を込めて!

耕友会コンサート in Karuizawa

【入場無料】



【演奏曲目】

Spem in Alium nunquam: 40 声のモテット / Thomas Tallis
二重合唱のためのミサ曲 / Frank Martin
女声合唱とピアノのための「三つの夜想」 / 三善 晃
アッソジの聖フランチェスコの4つの小さな祈り / Francis Poulenc
【指揮】 松下 耕 | 【ピアノ】 前田 勝則
【合唱】 The Metropolitan Chorus of Tokyo 他

8/24(土) 19:00-19:15



15周年特別企画!

公募合唱団「AERA NOVA」による

混声版委嘱初演ステージ

【指揮】 松下 耕

【ピアノ】 前田 勝則

【曲目】 出発 (混声版初演)
作曲 松下 耕 / 作詞 山崎佳代子
なみだのあとに (混声四部版)
作曲 松波千咲子 / 作詞 みなづきみのり

8/24(土) 19:15-20:45



今年も豪華! 3つの招待合唱団!

第4回フェスティバルに出演した2団体が再び軽井沢の地に!



淀川混声合唱団
(大阪)

(長野)

信州大学混声合唱団

プレミアムコンサート①



8/24(土) 13:30-15:30



世界をつなぐ!

こどもユースフェスタ

佐倉ジュニア合唱団 (千葉)

豊田市少年少女合唱団 (愛知)

國立新竹女子高級中學 (台湾)

【合同曲】 Everyone Sang for SSA
(作曲 松下 耕 / 出版: Pana Musica)

8/25(日) 14:00-15:15

Sofia Vokalensemble

(スウェーデン)

プレミアムコンサート②

合唱大国スウェーデンより王道の北欧サウンド、待望の初来日——

初来日記念
JAPAN TOUR
2019

8/18 Sun 東京
Tokyo

Japan Tour 2019 in 渋谷
開場 18:30 / 開演 19:00
渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

8/20 Tue 広島
Hiroshima

Japan Tour 2019 in 広島
開場 18:00 / 開演 18:30
広島県民文化センター

8/22 Thu 京都
Kyoto

コーラス・カンパニーオープニング記念コンサートシリーズ Vol.5
ソフィア・ヴォーカルアンサンブル 京都公演
開場 18:30 / 開演 19:00
京都府立府民ホール アルティ

問い合わせ先

軽井沢国際合唱フェスティバル実行委員会
E-mail: karuizawachorfes@koyukai.info
TEL: 042-689-5641 FAX: 042-635-0526



HP <http://karuizawa.koyukai.info/>



Twitter @KCF_koyukai



Facebook <https://www.facebook.com/karuizawachoralfes/>

Web サイトへ

